

ではありませんか。しかし事前に英語の勉強をしておけばもっと親密に会話が楽しめたのにと残念に思いました。

彼女は大変な秀才でありましてマーケティングに関する博士です。そして現在28才の若さにもかかわらず米国に於ける広告業界の青年プロ組織の前全国会長、副会長を歴任しているのです。そして現在コカコーラのマーケティング部長として多忙の毎日を送っているわけですが、高校の時から毎週12時間をボランティア活動を行って親のない子や老人の世話を行っているそうです。

1週間彼女と生活行動を共にしたことにより、アメリカ人、米国が遠い存在からすぐ隣の人、地域という感じに変わり、いつでも一人ですぐ行ける感じになりました。彼女（メラニーさん）達が三条市を去る際の昼食送別会の挨拶で彼女が「本当に素晴らしいホストファミリーに会いました。一生忘れる事はないでしょう」と言って涙を流してくれましたので私共も感動して涙が溢れ出ました。又他のアメリカ女性も「アメリカではジャパンプッシングと言っているが、日本人に会って見ると皆良い人でした」と言ってやはり涙を一杯流していられました。本当に感動の一週間、爽やかな別れをしましてお互いに相互の理解、親睦ができたと思います。私の子供達にホストファミリーをやった感想を聞いてみしたら、自分達の視野が広がって大変良かったと喜んでいました。

11月のお祝い：

| 誕生祝い   |     |         |     | 結婚祝い        |     |  |  |
|--------|-----|---------|-----|-------------|-----|--|--|
| 稲田憲治さん | 10日 | 佐藤ミチ子さん | 9日  | 稲田憲治・美津子ご夫妻 | 2日  |  |  |
| 佐藤義英さん | 18日 | 落合千鶴子さん | 16日 | 梨本清一・トア子ご夫妻 | 3日  |  |  |
| 坂内康男さん | 18日 | 堀川美智子さん | 18日 | 柄沢憲司・佑子ご夫妻  | 3日  |  |  |
| 山本 賢さん | 29日 | 大竹チエさん  | 19日 | 山口龍二・ミチコご夫妻 | 7日  |  |  |
|        |     | 石月恵美子さん | 23日 | 今井克義・房子ご夫妻  | 14日 |  |  |
|        |     |         |     | 芦田義重・恵登ご夫妻  | 16日 |  |  |
|        |     |         |     | 本間茂男・はま子ご夫妻 | 18日 |  |  |
|        |     |         |     | 目黒宣行・直子ご夫妻  | 26日 |  |  |

理 事 会

開催日時 平成6年11月8日 11：30～12：20

開催場所 三条ロイヤルホテル

出席者

理事 大野新吉 米山忠俊 味方義一 丸山誠一 芦田義重 佐藤啓策 小林 満 稲田憲治  
オブザーバー馬場直次郎・梨木建夫

- 議 事
- 1、G S E受入経費の件 スマイルBOXより支出することで承認
  - 2、新会員入会18名の件 全員承認
  - 3、1996～97年度会長選挙の件

藤様始め皆様ありがとうございました。

米山忠俊君 幹事としてお礼申し上げます。地区大会、三クラブ合同例会及びG S E歓迎会への出席、並びに協力ありがとうございました。佐藤啓策国際奉仕委員長奥様お嬢さまG S E受入1週間大変御苦労様でした。

堀川正幸君 本日は早退させていただきますのでお詫びに。

梨木建夫君 会員選考の名簿が出来あがりました。優秀な方々が多く入会されるよう早急にアタックしていただきたいと思います。

平松利朗君 目の前のニコニコBOXに協力

山崎 勲 君

地区大会報告 会長 大野新吉

地区大会にご出席下さいました会員に感謝申し上げます。

今大会全体の雰囲気をお願いしますと大島ガバナーのカラーを十二分に表現されていると思いました。清楚の中に若々しさが加わりしかも上品で……例えば大会のメインステージ装飾と光の演出は高田城社の春の桜・夏の蓮の花をモチーフにデザインしてそれにアップーホリゾーンの原色の色の組合わせや左右上下からのサーチライト e t c の照明をより効果的に使用、大会のセレモニーをより感動的に印象づけました。二日目の記念パネルディスカッション、テーマ「アジアとニッポン温故知新」をパネリスト中華民国台北駐日経済文化代表處副代表、涂秀雄氏、そして上智大学教授グレゴリー・クラーク氏を招いてコーディネーターを大島ガバナーによって進められました。その中でn oと言えない、あいまいな日本人、「弱きを助け強きをくじく」の反対「弱きをくじき強き者を助けている」……正々道々と正義を貫ける発言が欲しい政治大国、経済大国の日本よ!!……渡辺R I代理の「生きる為に奉仕をしよう」!!の言葉の裏に人の為に奉仕をしていく事が知らず知らず自分の為になっている前回の朗読奉仕活動を読けておられる樺紀さんの言葉にその奉仕の心が通い合っている様に思いました。

クラブ奉仕委員長 味方義一さん

大会第一日目、会長幹事委員会に出席してまいりました。

地区委員会では、クラブ奉仕委員会地区委員長、阿部弘一（柏崎東）さんより報告があった。奉仕の理想は例会出席より始まる。出席を奨励し、クラブの親睦を計り、各種大会に出席して、ロータリアンの友情を深めよう。永遠に続く、活力あるクラブの為に是非会員の増強に力を入れてほしい。ロータリー情報委員会の活動と「ロータリーの友」の活用し大いに利用してほしい。

以上の三点を発表報告された。

R C会長代理、渡辺好政先生のあいさつでは会長メッセージである「B E A F R I E N D」である。地区大会は友情の祭典である。素晴らしい出会いを重ねて友情を確かめあい新しい友情を築きあげて下さい。



職業奉仕委員長 山本 賢さん

R I 会長代理 渡辺好政先生（第2690地区直前ガバナー、岡山）の講演から  
「すばらしいロータリアンでありつづけるためには」

1. よき友をもつ。
2. まいにち、肯定的に生きる。  
心のおしゃれをする。
3. ○△□……。
4. それをつづける。

について説明されました。

その要旨は、ロータリーの友10月号の自然の「摂理」乾英夫先生（第2630地区ガバナー、伊勢）の引用でお話させていただきます。

「山林業」に従事されておられます先生は、長年自然界と付き合いの中で、人間のさまざまな営みの上に、自然の「摂理」が厳然と在存することを確信された。

自然は、厳しい半面、正直でありますから、人間が加えた作業は、移動のできない木のことでありますから、その結果を20年、30年後も見せてくれます。

さまざまな山での作業の中で失敗したこと、成功したことの理由を整理してみると、人間側の都合でした作業は失敗し、自然側の都合でした作業は成功したという結果でありました。

相手の都合を優先すれば、仕事は成功する。

自分の都合を優先すれば、仕事は失敗する。

これはロータリーの「奉仕の理想」の考え方であり、「他人のことを思いやり、他人のために役立つとすることである」とする定義そのものであります。

だからこそ、二つの世界大戦を経ながらも、今日まで90年近く、ロータリーが世界に発展してきたのだと思います……と。

社会奉仕委員会 米山忠俊さん

◎木島登社会奉仕委員長より地区委員会報告が下記のようにあり、「地域社会に対する責任遂行」を教調された。

- ・人間尊重……社会への思いやりを深める
- ・地域発展……地域の人と友達の輪を広げ  
地域全体に活動を広げ  
地域のニーズは何かを考える
- ・環境保全……美化運動の推進
- ・協同奉仕……会員の結束を強め、小さい奉仕から大きい奉仕へと

◎渡辺 R 1 会長代理より、地区大会は会員が学び楽しみ親睦を深める場であり、ロータリークラブ

入会時の思いと心を大切に、一期一会を大事にと大変格調の高いお話がありました。

◎大島ガバナーからは米国のジャーナリストがアフリカのソマリアでの少年とはげたか一枚の写真の感動ある話で、我々ロータリアンが世界に何が出来ると問い皆様には目標に向かって最後までやりとげ、そして仕上げる事を要請し、期待するとの熱情あふれる挨拶があり、有意義な2日間の大会でありました事を報告致します。

国際奉仕委員長 佐藤啓策さん

地区大会報告と G S E のホストファミリー報告

(1)地区大会について

大島ガバナーの挨拶の中で上杉謙信の居城があった高田は、戦国時代には人口が7万人だったそうですが、それは京都の人口の10万人に次いで全国第2位の町だったそうです。

又 G S E（グループスタデーエクスチェンジ、すなわち大人の専門家を5名ずつ日米で派遣しあい、ホームステイで各国の家庭生活を体験しながら国際親善を行うというものだと思います）を新潟県で今回初めて迎い入れたそうです。そして来年4月には新潟県と群馬県から合計5名の方がアメリカのルイジアナ州のバトンルージュへあえて派遣するのだそうです。

ロータリーが支援する関係者次に掲げる代表の紹介と挨拶がありました。

- |                  |            |
|------------------|------------|
| ① G S E の日米双方の全員 | ④ 一年交換受入学生 |
| ② R 財団国際親善奨学生    | ⑤ 一年交換派遣学生 |
| ③ 米山奨学生          | ⑥ 夏期交換学生   |

(2) G S E ホストファミリーを行って

私が金髪独身美人女性28才のホストファミリーになりませんか、再三に渡って皆様にお知らせしたのにもかかわらず、奥様に遠慮されたのかどなたも名乗りを上げられませんでした。それではと急転直下国際奉仕委員長くして私めが迎え入れることにした訳です。

上越市の地区大会場で彼女に会ってみましたら予想以上の美人でしかもスタイルも抜群でした。地区大会出席の当メンバーと一緒に彼女を連れて来て、饞心亭おゝ乃での地区大会の反省会兼彼女の歓迎会をして頂きました。2日の5クラブ合同例会、5日の送別昼食会とも妻と通訳がわりに私の娘も出席させて頂きました。この3日間、上の娘は大学から家に駆け付けてくれました。

私の家では和室に泊まって頂きました。（日本の生活を体験して頂く為）そして1週間が終わりました。彼女は風呂には3日に1回位しか入らず、他の日は朝シャワーを浴びていました。

毎日5クラブが交替で彼女達を工場や施設見学に案内しますので、私は彼女を車に乗せて指定の場所に送り迎えをしました。彼女は助手席に乗り片手に辞書を持ってカタコトの日本語で話し掛けてきます。私は日本人の英語は通じないと聞いていたので、子供に通訳を頼み、私は英語の復習や英会話の勉強はしませんでした。しかし毎日送迎の時間、彼女と二人きりで行動するものだから、少しずつ英会話を思い出しながら話し掛けてみました。そしたら意外に何とか言葉が通じる